



Visual Voicemail のキー マッピングの設定

- 「Visual Voicemail のキー マッピングについて」 (P.6-1)
- 「Visual Voicemail キー マッピング ファイルの形式」 (P.6-1)
- 「Visual Voicemail キー マッピング ファイル内のコンテキスト」 (P.6-2)
- 「Visual Voicemail キー マッピング ファイル内の操作」 (P.6-2)
- 「Visual Voicemail キー マッピング ファイルのサービス パラメータ」 (P.6-3)
- 「Visual Voicemail のキー マッピングの有効化または変更」 (P.6-4)
- 「Visual Voicemail のキー マッピングの制限事項」 (P.6-5)
- 「デフォルトの Visual Voicemail キー操作」 (P.6-5)

Visual Voicemail のキー マッピングについて

ユーザは、電話機のキーパッドの数字を押して Visual Voicemail の一部の操作を実行できます。どのキーでどの操作が実行されるかは、キー マッピング ファイルによって定義されます。

Visual Voicemail は、Cisco Unity および Cisco Unity Connection の電話インターフェイスと同じキー マッピングを使用されません。ただし、Visual Voicemail は Cisco Unity および Cisco Unity Connection のボイスメール サービスと同じキーの組み合わせの一部を使用します。

Visual Voicemail のキー マッピング ファイルは、Cisco Unity および Cisco Unity Connection のキー マッピング ファイルと形式が異なります。

関連項目

- 「Visual Voicemail のキー マッピングの有効化または変更」 (P.6-4)
- 「Visual Voicemail のキー マッピングの制限事項」 (P.6-5)

Visual Voicemail キー マッピング ファイルの形式

キー マッピング ファイルの各行は、1 つのキー マッピングを表しています。各行の形式は次のとおりです。

CONTEXT:INPUT:ACTION

次の表で、上記の各パラメータについて説明します。

パラメータ	説明
CONTEXT	ユーザがキーを押したときのアプリケーションの状態を表します。たとえば、メッセージが再生中かどうかに応じて、キー押下に対するアプリケーションの応答を変えることができます。
INPUT	ユーザが押したキー（またはキーのシーケンス）を表します。
ACTION	ユーザがキーを押したときに実行される操作を表します。

キー マッピングの各パラメータは数字で表されます。たとえば、次のキー マッピングは、メッセージが再生されていないときにユーザが 3 を押したら、現在選択されているメッセージを削除するように指定しています。

3:3:4

Visual Voicemail キー マッピング ファイル内のコンテキスト

表 6-1 に、Visual Voicemail キー マッピング ファイル内のコンテキストと、各コンテキストを表す数字を示します。これらのコンテキストは、サインイン後に表示されるメッセージ リスト画面にのみ関連しています。

表 6-1 Visual Voicemail キー マッピング ファイル内のコンテキスト

整数	コンテキスト
1	メッセージが再生されている
2	メッセージが一時停止されている
3	メッセージが再生されていない

関連項目

- 「Visual Voicemail キー マッピング ファイルの形式」 (P.6-1)
- 「Visual Voicemail キー マッピング ファイル内の操作」 (P.6-2)

Visual Voicemail キー マッピング ファイル内の操作

表 6-2 に、Visual Voicemail キー マッピング ファイル内の操作と、各操作を表す数字を示します。

表 6-2 キー マッピング ファイル内の Visual Voicemail 操作の説明

整数	操作
1	次のメッセージの再生
2	前のメッセージの再生
3	現在のメッセージの再生し直し
4	メッセージの削除
5	メッセージの速度減少
6	メッセージへの応答

表 6-2 キー マッピング ファイル内の Visual Voicemail 操作の説明 (続き)

整数	操作
7	メッセージの速度増加
8	メッセージのマーク
9	メッセージの巻き戻し
10	メッセージの一時停止
11	メッセージの再生
12	メッセージの早送り
13	サインアウト
14	前のメッセージの再生
15	次のメッセージの再生
16	メッセージの転送

関連項目

- 「Visual Voicemail キー マッピング ファイルの形式」(P.6-1)
- 「Visual Voicemail キー マッピング ファイル内のコンテキスト」(P.6-2)

Visual Voicemail キー マッピング ファイルのサービス パラメータ

Visual Voicemail のキー マッピングを有効にするには、Visual Voicemail サービスに次のサービス パラメータを追加する必要があります。

サービス パラメータ	説明
tui_key_mappings_file_url	キー マッピング ファイルの HTTP ロケーションを指定します。
tui_key_mappings_file_version	<p>キー マッピング ファイルのバージョン番号を指定します。</p> <p>Visual Voicemail は、このパラメータを使用してサーバ上にキー マッピング ファイルの新しいバージョンがないかどうかを確認します。新しいバージョンがある場合、Visual Voicemail は新しいバージョンをダウンロードします。バージョンが新しい場合、Visual Voicemail は以前にダウンロードされたマッピング ファイルのキャッシュされたバージョンを使用します。</p> <p>キー マッピング ファイルの新しいバージョンをサーバに配置するたびに、このパラメータの値を更新する必要があります。パラメータを更新するには、Visual Voicemail サービスを削除し、新しいパラメータの値を使用してもう一度サービスを追加する必要があります。このトピックの詳細については、「Visual Voicemail サービス パラメータの更新」(P.7-1) を参照してください。</p>

Visual Voicemail のキー マッピングの有効化または変更

始める前に

Visual Voicemail のキー マッピング ファイルは、HTTP を使用してアクセスできるサーバ上に配置します。

手順

- ステップ 1** [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified Communications Manager Administration)] で、[デバイス (Device)] > [デバイス設定 (Device Settings)] > [IP Phone サービス (Phone Services)] を選択します。
- ステップ 2** Visual Voicemail サービスを検索します。
- ステップ 3** Visual Voicemail サービスを選択します。
- ステップ 4** [新規パラメータ (New Parameter)] を選択して、サービスにパラメータを追加します。

フィールド	設定
パラメータ名 (Parameter Name)	このフィールドには次のテキストを入力します。 tui_key_mappings_file_url
パラメータ表示名 (Parameter Display Name)	パラメータの名前を入力します。この名前は、Cisco Unified Communications Manager のユーザ インターフェイスに使用されます。たとえば、 URL for Visual Voicemail Key Mappings File と入力します。
デフォルト値 (Default Value)	Visual Voicemail のキー マッピング ファイルが配置されている URL を入力します。

サービス管理の詳細については、次の URL の『Cisco Unified Communications Manager System Guide』および『Cisco Unified Communications Manager Administration Guide』を参照してください。

http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps556/prod_maintenance_guides_list.html

- ステップ 5** [保存して閉じる (Save And Close)] を選択します。
- ステップ 6** [新規パラメータ (New Parameter)] を選択して、サービスにパラメータをもう 1 つ追加します。

フィールド	設定
パラメータ名 (Parameter Name)	このフィールドには次のテキストを入力します。 tui_key_mappings_file_version
パラメータ表示名 (Parameter Display Name)	パラメータの名前を入力します。この名前は、Cisco Unified Communications Manager のユーザ インターフェイスに使用されます。たとえば、 Version Number of Visual Voicemail Key Mappings File と入力します。
デフォルト値 (Default Value)	キー マッピング ファイルのバージョン番号を入力します。

- ステップ 7** [保存して閉じる (Save And Close)] を選択します。

関連項目

- 「Cisco Unified Communications Manager での Visual Voicemail サービスの追加方法」(P.4-10)

Visual Voicemail のキー マッピングの制限事項

Visual Voicemail が受け付けるキーボード入力は、1 つまたは 2 つのキー押下だけです (Cisco Unity および Cisco Unity Connection の電話インターフェイスは、最大 3 つのキー押下を受け付けます)。

デフォルトの Visual Voicemail キー操作

デフォルトの Visual Voicemail キー マッピング ファイルには、メッセージ リスト画面で各キーを押したときに実行される操作が定義されています。表 6-3、表 6-4、および表 6-5 に、Visual Voicemail のデフォルトのキー機能を示します。

表 6-3 メッセージが再生されていないときのデフォルトのキー機能

キー	操作
1	繰り返し 再生 (メッセージがまだ再生されていない場合)
3	削除
4	応答
5	転送
6	マーク
*	サインアウト
##	次のメッセージの再生
1、4	前のメッセージの再生

表 6-4 メッセージが再生されているときのデフォルトのキー機能

キー	操作
1	繰り返し
3	削除
4	速度減少
6	速度増加
7	巻き戻し
8	一時停止 / 再生
9	早送り
*	サインアウト

表 6-5 メッセージが停止、再生、または一時停止されているときのデフォルトのキー機能

キー	操作
1 4	前のメッセージの再生
1 6	次のメッセージの再生
##	次のメッセージへスキップ

関連項目

- 「Visual Voicemail キー マッピング ファイルの形式」(P.6-1)
- 「Cisco Visual Voicemail の管理」
- 「Cisco Visual Voicemail のトラブルシューティング」